



[特集:冬~春に日本で流行しやすい感染症]

<冬に流行する感染症とその理由>

・冬に流行する感染症は主に「インフルエンザ」や「ノロウイルスによる感染性胃腸炎」

◎主な理由

- ・乾燥により、ウイルスの水分が蒸発し、比重が軽くなり浮遊しやすくなる。
- ・乾燥により、荒れた肌からウイルスが侵入しやすくなる。
- ・湿度が40%以下の室内では、ウイルスが30分漂い続ける。
- ・体温低下による免疫力の低下。
- ・ウイルスは、くしゃみ1回で約100万個、咳1回で10万個、飛散する。

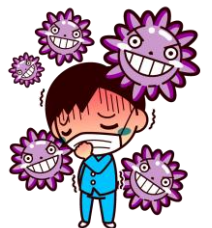


<春に流行しやすい感染症とその理由>

- ・春は暖かく流行するイメージは少ないですが、インフルエンザは春でも油断できません。予防接種の効果も薄れているため、重症化する場合があります。
- ・更に「麻疹」や「風疹」も罹りやすいです。

◎主な理由

- ・新年度を迎え、新しい人と出会う機会が増える。
- ・新生活・新学期でのストレス
- ・日中と夜間の気温差で生じる体温調整の乱れ。
- ・風が強くと花粉も多く飛び、アレルギーによる咳やくしゃみが流行を促進する。
- ・暖かくなったことによる予防意識の薄れ。



<子供に多い感染症>

主に2月~5月にかけて特徴的なものは5つ

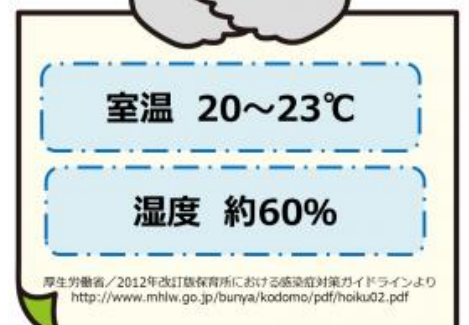
- 1.溶連菌感染症
- 2.インフルエンザ
- 3.感染性胃腸炎
- 4.水痘(水ぼうそう)
- 5.流行性耳下腺炎(おたふく)



<感染症の予防>

どの感染症も、感染予防の基本は「手洗い」や「うがい」です。そして乾燥しがちな、この季節はウイルスが浮遊しやすくなるため、感染が広がりやすくなります。

暖房や加湿器などを用いて適切な温度・湿度を保ちつつ、時々換気も行うようにしましょう。



厚生労働省/2012年改訂版保育所における感染症対策ガイドラインより
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/pdf/hoiku02.pdf>

